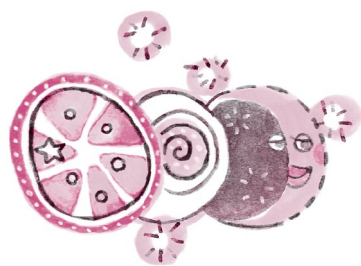


特集

チーム医療を 培う IPE



MAJOR ARTICLES

医療は、それぞれの専門職が参加する「チーム」で取り組むもの。その中心は、患者。21世紀にスタンダードとなった大前提です。看護界に専門職連携教育 (Interprofessional Education ; IPE) の概念が紹介されてから15年が経ちましたが、ただその具体的な連携法を学生が学ぶ機会はまだまだ少ないのが現状です。それでも、“鉄は熱いうちに叩け”——医療者の基盤づくりは、基礎教育から始めるほかありません。「IPEがチーム医療を培う」のではなく、臨床現場の要請が、学校機関に及んでいるのが現在の流れです。

看護職が他職種と協働する基盤になる資質は、自らを知ること、それを他者に伝えられるコミュニケーション能力がカギです。薄井坦子さんが50年前に模索された「看護って何だろう」を問う道のりが、現代の皆さんにも最初の道標になるのではないのでしょうか。

お詫びと訂正

弊誌 52 巻 6 号(2011 年 6 月号)におきまして、表紙、背表紙、目次、特集扉における特集タイトルが間違っておりました。

『チーム医療が培う IPE』ではなく、『チーム医療を培う IPE』が正しい表記です。

大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びし、訂正いたします。
『看護教育』編集室